



病児保育協議会

NEWS

一般社団法人 全国病児保育協議会ホームページ <http://www.byoujichoiku.net/>

第75号

「病児保育専門士」特集号

〔発行人〕 会長 稲見 誠

〔発行〕 一般社団法人 全国病児保育協議会

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 3-22-13 いなみ小児科内
TEL.03-3421-4885 FAX.03-3411-4936

病児保育専門士の第一期認定を迎えて

一般社団法人 全国病児保育協議会 会長

稲見 誠

(東京 いなみ小児科 ハグルーム)



第24回全国病児保育研究大会において170名の方が第一期認定者として発表されました。誠にありがとうございます。そして認定された皆様のご努力に敬意を表します。また、各施設長を始め、職員の皆様のご協力に感謝いたします。

病児保育専門士認定制度は平成20年7月の理事会で病児保育の資格制度の必要性が発議されました。その後、実現に向けて討議を深め、平成24年7月の理事会において資格認定制度の発足を協議会として正式に決定しました。同年8月には資格認定委員会が発足し制度の概要や講習内容についての会議が開始され、また厚生労働省との折衝も始めました。

資格認定委員会での何度も検討を重ね、平成25年3月の理事会にて内容の最終決定がなされ、同年4月に第一期講習会を東京を皮切りに、10月には大阪、

26年1月には福岡において講習会を開催いたしました。

26年度は26年9月に東京において第一期の講習会を開催する予定です。私も講習会や面接に参加しましたが、受講生の多くは中堅からベテランの職員で、各施設のリーダー的な職員でした。実際、講習や面接においても受講生の知識や意識の高さを感じられました。

この資格制度は、病児保育の安全・安心な保育看護における専門性を高め、病児保育を通じて究極の子育て支援を行うことの出来る保育士・看護師の養成のための制度です。本制度は個人資格ですが、個人の専門性やスキルの向上とともに、資格認定者は施設内や地域の病児保育の指導者として情報の発信や教育など、先進的な役割を担って活躍されることを期待しております。

第一期病児保育専門士認定に寄せて

資格認定委員長 永野和子

(熊本 みるく病児保育室)



(一社)全国病児保育協議会認定 病児保育専門士 第一期生170名の皆様、認定おめでとうございます。認定された皆様のご努力に敬意を表しますとともに、各施設長を始め、職員の皆様のご協力に感謝いたします。

この「病児保育専門士」は、多様化する「病児保育」という形態の中で、協議会が掲げる(安心安全)な病児保育を実践するために、専門的な知識と技術をもって、病気の子どもの保育・看護を行いながら、保護者に対して病気の子どもの保育について指導を行う。また、地域の病児の保育や子どもの病気などに関する、指導・情報発信として、その地域の中心的な役割を負う病児保育のリーダーを養成するという目標のもとに、全国病児保育協議会は、長い月日をかけ、認定制度の実施準備に取り組んでまいりました。

「病児保育専門士養成講座」を開催するに当たって、

資格認定委員会が中心となり、

常任理事会、理事会、また、研修委員会の先生方に、様々なお立場からご指導、ご意見を頂きながら、内容の検討を繰り返しました。そして、これからの病児保育を牽引していただく病児保育専門士を養成するに相応しい、講習内容を確立することができたと自負しております。

これからも、多くの「病児保育専門士」が誕生し、未来を担う子どもたちのために、安心安全な病児保育、子どもたちの笑顔のあふれる病児保育が展開されることを切望いたします。

最後になりましたが、今回の病児保育専門士認定に当たり、講習会講師としてまた、口頭試問官としてご協力いただきました先生方に、心より感謝申し上げます。

受講者一言コメント

受講するまでの間は、全く何の情報も得る事が出来なかったのが不安な気持ちでしかなく、タイムスケジュールを見てより一層「大丈夫だろうか?」という状況でした。しかし、講習会は眠気もこない濃い内容と他の受講者の方と体を動かしたり、話し合いを行うあっという間の一日です。口頭試問は、答えに困るような質問も答えられないような質問はありません。受講後は、お忙しい中、受講内容等に関して考えて下さいました。委員長さんはじめ、関係者の方々に対して、このような機会を与えていただいた、施設長に感謝の気持ちでいっぱいです。プラスになる事ばかりですので、是非、受講していただけたらと思います。

〔福岡県〕 保育士 松本智恵子

事例研究レポートの「テーマ」を考えるまでが大変でしたが、文章化するのには、アンケートについての様式(記載様式について)又は一人のお子様との保育について、保護者についてと身近なことで、あまり難しく考えないでよいと思います。自分の中で気になったことを一つにまとめることが「保育の力」に結びつき、口頭試問は、文章化したものを読み上げたので、難しいと思われるパソコン業務が苦手な方も大丈夫です。資格をいただいたので、今後も保育士としての力量アップに努めていきたいと思います。

〔石川県〕 保育士 広瀬 雅枝

資格取得までは、口頭試問やレポートなどとても不安でした。しかし、この現場で働くためには、専門的知識を持つこと、自分自身のスキルやモチベーションを高めるために必要だと感じています。病児保育に携わる方々、皆様と、この病児保育の必要性、存在、業務の重さを行政や育児中の方々に広め、理解していただけるよう、力を合やすことが出来ればと思います。この病児保育専門士の取得のための研修に参加でき、本当に感謝しています。

〔島根県〕 看護師 矢野 真紀

ちょうど昨今の頃、病児保育専門士の資格認定に向けて、努力していたことを思い出します。一言でいえば、楽しかった!です。東京での講座は、日本各地から高い志をもち、同じ目標に向かう仲間が集い、気持ちの良い時間でした。講座も充実していて、吸収したいことばかりで、ちっとも眠くなりませんでした。レポートも書き出せば、今まで気づかなかった自分を発見するようになチャンスになりました。

〔北海道〕 保育士 森田 聖子

看護だけでなく、保育の知識もひろがり、改めて保

育と看護の専門性と互いを補充しあいながら行わなければならないと強く思いました。今後は、自施設のスタッフの教育にも取り組んでいきたいと考えています。

〔高知県〕 看護師 溝渕 佐緒

保育看護の知識を得る必要性を受講して改めて感じています。認定資格を取得した誇りと自覚を持って、病児と向かい合っていきたいと思っています。

〔高知県〕 保育士 前田 誉子

病児保育室を利用する子どもたちとその家族が、笑顔になれるよう頑張ります。

〔兵庫県〕 保育士 初田真紀子

利用者の方々がより安心してお子様を託せる病児保育であるために、病児保育専門士の受講を希望しました。勤務して10年になりますが、改めて基礎知識を学ばせて頂いた事で、初心にかえって自分の行動や言動に責任と自覚が持てたこと、また、レポートに関しては、課題を持って仕事に臨むことの必要性を感じることができ、子どもに対してよりきめ細やかな対応をしようという気持ちを持つことができました。私は、病児保育専門士資格取得をスタートと考え、さらに専門知識と実務体験を積んでいきたいと思っています。

〔三重県〕 保育士

今後も向上心を持ち、自分自身のスキルアップに力を入れていきたいと思っています。

〔山口県〕 保育士

4日間の講習会はとても勉強になりました。ヒヤリハットのワークショップでは、事例をもとに各施設での取り組み方法を発表し合い、自施設でも参考にしようと思う事ばかりでした。一番の難関はやはり、論文と口頭試問でした。正直この年齢になって体験するなどと思っていまらなかったのですが、今まで病児保育に携わってきたことを振替る、貴重な時間になりました。「安心・安全」な保育看護を提供出来るよう、知識向上にこれからも努めていきたいと思っています。

〔高知県〕 保育士



講習を受けたことで、自分の「保育看護」を見つめ直し、また、新たな発見につながりました。これからも、学んだことを日々実践していきたいと思います。

〔兵庫県〕 保育士

病児保育専門士講習会で学んだ知識を身に付け、病気の子ども達や保護者のお役にたてるように頑張りたい。また、今後も研修会などに参加し専門性を高めていきたい。

〔神奈川県〕 保育士

私に出来るか、病児保育専門士という責任ある資格取得をしてもよいのか、資格を得て一層地域貢献したい等、不安と期待をもちながら受講しました。保育看護がより理解でき責任の重大さを痛感しました。又、今まで行ってきた保育看護へ自信のもてる内容でもありました。レポートは書き方等詳しく教えていただいたので書くことができました。今後全国に病児保育専門士を周知していただき「これなら安心して子どもを預けられる」そんな場所にしていきたいです。

〔兵庫県〕 保育士 杉山 令恵

病児・病後児保育の看護師として自信を持って今後も保育看護に取り組みたいと今回資格認定講習会に参加させていただき、無事病後児保育専門士として一歩を踏み出す事ができました。地域で“病後児保育”を更に広めて多くの人に利用してもらう為に活動内容を話していける場へ積極的に進まなければと考えている最中です。苦手意識を一つ一つ克服しながら自身も成長していけるよう日々努力していきます。

〔兵庫県〕 看護師 山守 紀子

レポートはとても大変でしたが、自分を見つめ直す良い機会になりました！また受講者の方達とは同じ目標を持つことで、仲間意識が感じられ、身近な存在になりました。

〔千葉県〕 看護師

資格認定講座では、質の高い講義を受講することができ、自分の中のバラバラであった知識がまとまり、もやもやしていたものが“サー”と晴れていくような感覚を得る事ができました。さらには、すぐにでも実践したくなるような講義内容の連続で、講義を受ける事ができただけでも十分に価値があったと感じたほどでした。そして、最終課題であるレポート提出も、課題の決定から完成までの工程で、自分の置かれている環境や瀬説状況、はたまた病児保育について改めて考える機会を与えて頂くことができ、大変有意義な時間でありました。資格取得をなし得た今、資格取得はあくまでも結果であって、そこにたどり着くまでの間のかげがえのない多くの経験こそ、今後の地震の保育看護において、素晴らしい糧となると心から感じてい



ます。そして利用者の方々の笑顔のために、病児保育専門士として、気持ち新たに頑張っていきたいと思います。

〔大阪府〕 保育士 佐久 章

講座のスケジュールを見た時は、ドキドキしたのですが、始めてみると、先生方のお話がとても楽しくて、あっという間に終わるものもありました。同じ気持ちの人々と一緒に4日間すごすと、色々な方とお話しもできて楽しかったです。レポートは最後までドキドキでしたが、永野先生が細かくおしえて下さるので大丈夫でした。

〔大阪府〕 保育士

今回、病児保育専門士認定を受け(資格更新もあるという事で) 毎日時間に流されていつか勉強し直さないと、知識が古くならないか?という気持ちを持っていたので、この機会にあらためて学ぶ事が出来て、病児保育をする上で色々な視点から介入する事もでき、更に楽しく仕事が出来ております。認定というと、堅そうですが、怖がらずに多くの人に受けていただきたいと感じています。

〔東京都〕 看護師

新卒ではないので、基本的な事柄にそうだったと、思い出したり、新しい事を吸収したりと。講義は、しっかりあってヘトヘトでしたが、同じ目標で各地から集まってきた人達と交流でき色々な病児保育の現状を聞いて勉強になりました。夜はみんなで食べて話して笑って楽しかった!!面接の後もなぐさめてくれ心がほっこりして新幹線に乗れました。又、会う約束です。

〔愛知県〕 保育士 倉橋加代子

私が、病児保育専門士の資格を取りたいと思ったのは、一施設にひとり、この資格を持った人間がいた方が良いかな?だったら管理者の私が最初にとろうかな?くらいの軽い気持ちでスタートしました。しかし実際参加してみたら、計4日間の講義はとても充実した内容で学ぶ事が多く、今では受講して本当に良かったと思っています。レポートとプレゼンはちょっと大変でしたが、学生時代に戻った様な新鮮な気分でした。ひとりでも多くの病児保育にかかわる皆様の認定取得を心より望んでおります。一緒にがんばりましょう。

〔埼玉県〕 看護師 河西 伸子

病児保育を極めるにはまだまだ道のり長く、容易ではないですが、そればかりでなく、病児保育の奥深さ、面白さを伝えていけるよう、毎日楽しく保育を目指します!!

〔東京都〕 花房 茜

時代に必要とされている病児保育。ならば、携わる私たちは質を高める努力をしよう。

改めて病児保育を考えることができ、新たに前進していく気持ちと自信ができました。「子どもの安全と寄り添う保育」を大切に常に向上心を持ち続けたいと思います。

〔大分県〕 保育士 相原真裕美

病児保育専門士の資格を取得する為に、様々な講座を受講させていただきました。日々の保育や年に一回の全国大会の時等、学ぶ機会は多くあると思いますが、この講座ではより専門的に詳しく取り上げてありました。特に薬に関しては、実際に口にしてみてもいいのか、においはどう等、体験でき、子どもに内服させるときの声掛けも変わりました。又、他の参加者とも話をすることが出来、疑問に感じた事を聞けたり、参考になる保育方法を知る事ができました。ぜひ多くの方にも体験していただきたいと思いました。

〔鹿児島県〕 保育士

講習を受けて日々の仕事への自信につながれたと思います。レポート、1つのことについて研究し考察し、こういう機会をもって取り組めて良かったです。

〔徳島県〕 保育士 山野井まなみ

レポートが一番悩むところだと思います。普段から日々の病児保育の中で感じていること、気になっていること、保育中の反省点などをメモやノート等に書きとめておくことが大事だと思います。あとで見直したときに“自分自身の課題”が見えてくるはずですよ。講習や参考書は今後役立つことが多かったです。

〔愛媛県〕 保育士



与薬時の対応についてや看護法など、日々の保育看護において大切なことを、講習会を通して学ぶことができました。レポートは悩むこともありましたが、レポートを仕上げるにあたって参考にした本を見ることでまた勉強になりました。

〔愛媛県〕 保育士

受講にあたり、気がかりな“レポート”提出でしたが、貴重な講義を受け、改めて日々の保育を見直し、改善点を考えるうちに、自分の“レポート”のヒントが見つけれられた気がします。また、スタッフ間で協力し励まし合えた事も“レポート”提出までの大きな力となりました。

〔愛媛県〕 保育士

講習を受けることにより、今までの経験の中での保育看護などについて、理論づけができるようになると思います。また、「病児保育専門士」制度ができたことで、病児保育・保育看護の専門領域が多職種、地域の方など、病児保育にかかわる様々な方に理解してもらえていると思っています。まず、理解を得る事は、相手を理解することから始まると私は思います。そのことに気を付け、今後も病児保育専門士として、より一層自己研鑽し、様々な方の理解とご協力を得ながら安心・安全な保育室にしていきたいと思っています。

〔神奈川県〕 保育士 永井 美穂

病児保育に勤務して10年になります。認定講習は、色々大切な知識や技術について、基本にたかえらなくてもよいきっかけになりました。後継者指導にも大変役に立つことと思います。ひとりでも多くの方に受けていただければと思います。いくつになっても、このような立派な認定証をいただけるのは嬉しいですね。資格認定委員会の先生方、ありがとうございました。

〔大阪〕 看護師 岸本 範子

第25回記念大会

全国病児保育研究大会

in くまもと

開催期間

平成27年

7月19日(日)・20日(月・祝)

会場

ホテルニューオータニ熊本

くまもと森都心プラザ



協議会ニュースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 全国病児保育協議会 広報委員会

担当：藤本 保

〒870-0943 大分市大字片島83-7

大分こども病院

FAX.097-568-2970

E-mail: byouji@oita-kodomo.jp